

# 小谷場中だより

教育目標〈自主 協働 創造〉 校 訓〈力の限り〉

川口市立小谷場中学校

〒333-0857

川口市大字小谷場 1 1 5 6 番地

TEL 048 (267) 1055

FAX 048 (267) 1069

3月号 令和4年3月1日

## 「この気持ちは何だろう」

校長 野本 慶人

「春」を題材とする歌はとても多く、何か期待や希望、出会いや別れ、これからの意気込みが盛り込まれた内容の歌詞が聴こえてきます。

先日廊下を歩いていると、音楽室から『♪この気持ちはなんだろう…この気持ちはなんだろう。』ときれいな歌声が聴こえてきました。ご存知の合唱曲谷川俊太郎氏の「春に」の冒頭です。この歌は私も担任だった頃、合唱コンクールに向けて、生徒と熱くなったことが思い出されます。

歌詞の中には何度も「この気持ちはなんだろう」が繰り返されています。右にも左にも動けない、言いたいけどどう伝えたらいいのかわからない、なんだかわからないけど、体の中からあふれ出てくるものがあるといった、歌詞の言葉を借りれば「もどかしい」状態にある思春期の心の内を表現したものであると、私は解釈しております。

まさに中学生の皆さんの今の気持ちを捉え、表現された歌詞のように思えてきます。しかも、その気持ちが明日へのエネルギー源となっているのかと思うと、見ている私たちはワクワクし、応援したくなるものです。

特に3年生は、卒業後の自分と重ね、この歌詞が心に響くのではないのでしょうか。

### 春に

谷川俊太郎

この気持ちはなんだろう  
目に見えないエネルギーの流れが  
大地から足のうらを伝わって  
ぼくの腹へ胸へそしてのどへ  
声にならない叫びとなってこみあげる  
この気持ちはなんだろう

・・・(途中略)・・・

心のダムにせきとめられ  
よどみ渦まきせめぎあい  
いまあふれようとする  
この気持ちはなんだろう  
・・・(以下略)・・・

令和3年度も残りひと月となりました。残りわずかとなったとき、「ありがとうございました。」という言葉があふれ出てきたとしたら、この1年は充実したものであったと言えるでしょう。

なぜ、「ありがとう」を漢字で書くと「有難う」という字を使うのでしょうか。「有難い」はめったにないとか、奇跡みたいなことが起こった時に使われる言葉であり、お釈迦様にまつわる話が語源となっているようです。

今年一年は、今のクラスで友と過ごした奇跡のような一年であったはずですが、今年度を思い返し、「有難い一年間」に「ありがとう」を添えられると気持ちよく終われるのではないのでしょうか。

保護者の皆さま、地域の方々、今年度も生徒はもてる力で精一杯の生活を送ることができました。それは、地域が一体となって子どもたちを育ててくださっているからです。この素晴らしい地域から3年生を見送り、1、2年生もそれぞれ進級します。どうか独り立ちできるまで、これからも、今まで同様に見守っていただきますようお願いいたします。本年度の教育活動へのご理解とご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。